

活動概要(2019年4月)

① 第3サイクル:普及ステップ4:Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification(農家による営農改善計画策定と技術研修ニーズの特定)

第3サイクル農家グループを対象に普及ステップ4:Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification(農家による営農改善計画策定と技術研修ニーズの特定)を実施した。本ステップの目的は、主に以下の2点である。

- 普及ステップ2: Awareness Creation Tour と普及ステップ3: Market Opportunity Finding で得た情報をもとに農家自身が個人の営農改善計画を策定すること
- 個人の営農改善計画をもとに、農家グループとしての技術研修ニーズを整理し、農家グループ対象の技術研修計画を策定すること

パレスチナにおいて農家の技術研修ニーズを効果的に引き出すためのポイント:

- 作物差別化による「ニッチ化」の促進:** これまでの活動結果を踏まえると、イスラエル産の高品質な作物との競争を避けて収益の安定化を図るには、市場ニーズはあるものの他地域の農家が栽培していない作物による差別化(つまり「ニッチ化」)が必要であることがわかってきた。また、パレスチナでは、市場ニーズがあっても、新規作物や作型をすぐには導入しない保守的な農家が多いこともわかってきた。そのため、プロジェクトが実施する農家グループ対象の技術研修対象の作物として、一般的に栽培されている既存作物2種に加えて新規作物1種を選択するようにし、農家の関心を新規作物にも向けるように配慮した。
- 「情報→農家のニーズ→技術研修」のつながり強化:** ワークショップの冒頭で、従前の普及ステップではどのような情報が得られたか振り返りを行い、従前の普及ステップに参加できなかった農家も含めて、農家グループメンバー間で情報共有を図るようにした。そして、それらの情報とワークショップでの議論・技術研修計画が結びつくようなファシリテーションを行うよう配慮した。
- 「農家の分類」とワークショップの効率化:** これまでの活動を踏まえると、1) 農業を主たる収入源としている農家、2) 農業以外を主たる収入源としている農家、3) 女性農家で、それぞれ農業に対する考え方や目的、技術研修に対するニーズが異なることがわかってきた。例えば、それぞれの農家で関心が高いのは、1)については収益向上、2)については省力化、3)については省力化および社会的慣習への配慮等である。それらの違いをワークショップの結果に効率的に結び付けられるように配慮した。
- 「農家の多様性」への配慮:** パレスチナでは、灌漑農業と天水農業を行っている農家があり、自然環境も多様であることから、農家ごとに作目も多様である。そのため、まずは個人の営農改善計画を策定してもらい、その後で農家グループとしての技術研修ニーズを整理する2段階の手順とした。実際には、全ての農家のニーズを技術研修計画に反映することは難しい。その場合は、農家グループとしての技術研修計画として採用されなかった個人農家のニーズに対しては、県農業局の通常の普及活動の一環としてカバーすることとした。



イスラエル産の農作物
(品質も高く、イスラエル側から制限なく移入される。イスラエルと同じ作物を同じ時期に栽培しているパレスチナの農家に勝ち目はない。)

普及ステップ4: Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification(農家による営農改善計画策定と技術研修ニーズの特定)の手順:

〈農家グループ対象のワークショップ〉

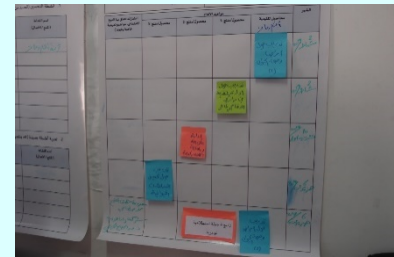
- 1) **これまでに得た情報の振り返り:** 普及ステップ2: Awareness Creation Tour と普及ステップ3: Market Opportunity Finding の振り返りを行う。
- 2) **農家ごとの個人の営農改善計画の策定:** 関心のある作物/畜産物の選択、選択した作物/畜産物の市場特性(市場タイプ:A、B、D)の選択、改善戦略、販売/調達計画を様式に記載する。



- 3) **農家グループとしての技術研修対象の作物/畜産物の選定**: 既存作物/畜産物 2 種類および新規作物/畜産物 1 種類を農家グループとして選定する。
- 4) **農家グループとしての技術研修計画の策定**: 農家ごとの営農改善計画を踏まえ、農家グループとして 5 回の技術研修セッションの内容とスケジュールを策定する(講義形式 1 回 2 時間程度。農家グループのニーズに応じて、ツアー形式 1 回も含むことも可。)

<県農業局における普及員による会議>

- 5) **農家グループの技術研修計画のレビュー**: ワークショップで策定された農家グループとしての技術研修計画のレビューを行い、必要に応じて研修計画の改善・修正を行う。



<ジェンダー配慮のポイント>

- ・ 対象作物・畜産物の選定において、家族内の女性メンバーが栽培を担当することが多い傾向がある作物(グンデリア、タイム等)を男性メンバーが選択した場合、ファシリテーターは、女性メンバーの労働負担・意向につき配慮するように男性メンバーに確認する。状況が逆の場合も同様である。
- ・ 世帯の農業収益を増やすために必要で、対象農民が希望するならば、他の家族メンバーの研修への参加、同メンバーを対象とした別の研修を設定することも可能である。ファシリテーターから参加農民に説明する。

1) 県農業局に対するプレトレーニングガイダンス

本活動においても、普及員から普及員への技術移転を実施するため、本ステップの実施経験のある第 1 サイクル対象県農業局から普及員を 3 名選定し、第 3 サイクル対象県農業局に実施手法を伝達する手法をとった。まず選定された普及員に対し、活動手法のポイントに



ついて事前に説明を行った(2019/3/17 および 18)。その後、エルサレム県農業局(2019/3/20)、ラマツラ県農業局(2019/3/21)、サルフィート県農業局(2019/3/24)において、ファシリテーターを担当する普及員に対して、プレトレーニングガイダンスを実施した。



エルサレム県農業局
(ナブルス県農業局普及員による説明)



ラマツラ県農業局
(ジェリコ県農業局普及員による説明)



サルフィート県農業局
(トゥバス県農業局普及員による説明)

2) 普及ステップ 4: Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification(農家による営農改善計画策定と技術研修ニーズの特定)のための参加型ワークショップ

第 3 サイクル農業局の普及員がファシリテーターとなり、普及ステップ 4: Farming Improvement Planning with Extension Needs Identification(農家による営農改善計画策定と技術研修ニーズの特定)のための参加型ワークショップを開催した。各農家グループのワークショップの概要は以下のとおりである。

**■ Dier Ballout Women Extension Group(サルフィート県・野菜農家グループ)
(2019/4/15)**

サルフィート県農業局の普及員(Ms. Maysa' Ma'kouseh and Mr. Labeeb Obaid)がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。この農家グループは、EVAP2 をきっかけに、ズッキーニ、スネークキュウリ、ニンニクの直売をするため、既に自分達でラマツラ市内のスーパーマーケットのバイヤーと交渉を開始した活発な農家グ



Dier Ballout 地区で多発している
ニンニクさび病

ループである。参加した農家は、これまでの活動で得た情報をもとに、自分達で技術研修の計画を策定した。Dier Ballout 地区は盆地にあり、4月に降雨が多い年は周辺の傾斜地から表流水が流れ込み、圃場の地下水水位が上昇し、多湿が原因で、野菜のさび病や疫病が蔓延するという課題を抱えている。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。



対象農産物	研修モジュール	実施時期
スネークキュウリ、オクラ、ニンニク、タマネギ	1. General production techniques	July 2019
	2. Compost making and application	July 2019
グンデリア	3. Additional study tour	August 2019
ニンニク(在来品種)	4. Irrigation, fertilization and pest & disease control	November 2019
上記作物全般	5. Training on group procurement of farm inputs	December 2019

■ Salfit Olive Farmers Extension Group(サルフィート県・オリーブ農家グループ)(2019/4/14)

サルフィート県農業局の普及員 (Ms. Amany Al-Zeer and Mr. Labeeb Obaid) がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。この農家グループは、オリーブ栽培を行っている兼業農家が多く、省力化に関心が高いグループである。参加した農家は、市場ニーズを踏まえ、オリーブ油の酸度を上げないためにはどのようにして収穫・出荷すればよいか、残留農薬を減らすにはどのようにして病害虫防除や除草をすればよいか等、意見を出し合いながら技術研修計画を策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。



対象農産物	研修モジュール	実施時期
オリーブ	1. Registration procedures of farmer group	June 2019
	2. Study tour and business matching	September 2019
	3. Group selling of olive oil	November 2019
	4. Pest, diseases and weed control	September and December 2019
	5. Pruning of olive trees	January 2020

■ Kharbatha Musbah Olive Farmers Extension Group(ラマツラ県・オリーブ農家グループ)(2019/4/1)

ラマツラ県農業局の普及員 (Ms. Jumana Zaid) がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。ワークショップには、農業庁のオリーブ部局の職員も参加し、技術的見地から助言を行った。この農家グループは、オリーブ栽培を行っている兼業農家が多く、省力化に関心が高いグループである。参加した農家は、市場ニーズを踏まえ、オリーブ油の酸度を上げないためにはどのようにして収穫・出荷すればよいか等、意見を出し合いながら技術研修計画を策定した。参加した農家は、これまでの活動で得た情報をもとに、自分達で技術研修計画を策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。



対象農産物	研修モジュール	実施時期
オリーブ	1. Weeds control	April 2019
	2. Supplementary irrigation	July 2019
	3. Additional study tour	August 2019
	4. Group procurement	September 2019
	5. Compost making and application	October 2019

■ Al-Mughayyir Livestock Extension Group(ラマツラ県・畜産農家グループ)(2019/4/11)

ラマツラ県農業局の普及員 (Mr. Ahmed Al-Boom) がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。この農家グル

ープは、仔羊の高い死亡率という課題を抱えている。参加した農家は、視察した Good Practice Farmer の事例や、家畜薬業者から得た情報をもとに、意見を出し合いながら技術研修計画を策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。なお、家畜の疾病対策と飼養技術の改善に係る研修は、家畜の繁殖シーズンに合わせる必要から、すでに実施済である。



対象農産物	研修モジュール	実施時期
ヒツジ・ヤギ	1. Animal Diseases and Treatment	February 2019(実施済)
	2. Feeding Management	February 2019(実施済)
	3. Breeds Improvements	June 2019
	4. Farm Management	June 2019
	5. Study tour	October 2019

■ Beit Doqo Grape Farmers Extension Group(エルサレム県・ブドウ農家グループ)(2019/3/26)

エルサレム県農業局の普及員 (Mr. Taha Jamal) がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。農業庁の果樹部局長 (Mr Odeh Sabarneh) も参加し、技術的見地から助言を行った。参加した農家は、これまでの活動で得た情報をもとに、自分達で技術研修の計画を策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。なお、べと病の対策と剪定技術に係る研修は、ブドウの栽培シーズンに合わせる必要から、すでに実施済である。



策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。なお、べと病の対策と剪定技術に係る研修は、ブドウの栽培シーズンに合わせる必要から、すでに実施済である。

対象農産物	研修モジュール	実施時期
ブドウ	1. Control of downy mildew	December 2018(実施済)
	2. Training and pruning of mature grapevines	January 2019(実施済)
	3. Green pruning of grapevines	May 2019
	4. Branding & marketing	June 2019
	5. Additional study tour	July 2019

■ Al-Sawahreh Livestock Extension Group(エルサレム県・畜産農家グループ)(2019/4/10)

エルサレム県農業局の普及員 (Mr. Jamil Jahalin) がファシリテーターとなり、ワークショップを開催した。この農家グループは、イスラエル軍による制約で畜舎を建設できないこと、仔羊の死亡率の高さ、飼料コストの高さという課題を抱えている。参加した農家は、視察した



Good Practice Farmer の事例や、家畜薬業者から得た情報をもとに、意見を出し合いながら技術研修計画を策定した。農家グループが策定した技術研修計画は次表のとおりである。なお、家畜の疾病対策と飼養技術の改善に係る研修は、家畜の繁殖シーズンに合わせる必要から、すでに実施済である。

対象農産物	研修モジュール	実施時期
ヒツジ・ヤギ	1. Animal diseases and treatment	February 2019(実施済)
	2. Feeding management	February 2019(実施済)
	3. Animal breed improvement	June 2019
	4. Additional study tour	June 2019
	5. Farm management	October 2019